



医療・福祉業③の燃料種別エネルギー消費量（月次）

（１）季節ごとの一日のエネルギー消費パターン

この事業所のエネルギー消費量を、一般的な医療・福祉系事業所における季節別、時間ごとのエネルギー消費モデル※を用いて分析すると、電気と熱別にそれぞれ次頁①、②のような需要パターンを描くことができた。

ここで読み取れる特長としては電気の需要は一年間安定して、ほぼ同量の需要が発生しているのに対して、熱のほうは季節ごとに需要量が大きく異なることが見出せる。また、熱需要については冬期のピークとボトムの差が極端であるといった特徴や、中間期と夏期のパターンが類似しているものの絶対量としては倍近くの開きがあることなどの特徴が見て取れる。

※都市ガスによるコージェネレーション評価プログラム-CASCADE(企)-/空気調和・衛生学会